

We Love Suita Osaka みうらネット



2021年新春号
大阪府議会議員 三浦とし子
〒564-0041吹田市泉町5-15-22
TEL: 06-6190-6877
FAX: 06-6190-6511
ホームページ: <http://miura-fuji.jp/>
E-mail: miura@komei-fu.com

コロナ禍での府民の生活を守れ。三浦府議9月定例府議会一般質問より 女性をはじめ多くの離職者の雇用対策を。

9月定例府議会後半の一般質問で12月3日三浦とし子府議は①コロナ禍における雇用対策 ②避難行動要支援者の個別支援計画策定支援 ③児童虐待防止のための専門機関との連携強化 ④自立援助ホームの役割と課題 ⑤十三高槻線の整備 ⑥健都における産学連携の取り組みの推進 ⑦国際児童文学館の在り方について質問しました。

中でも、新型コロナウイルス感染症の影響による雇用情勢の悪化で雇用対策は喫緊の課題。特に飲食業や宿泊業では多くの女性が離職を余儀なくされていることを指摘し、離職者に対する異業種への早期の再就職支援、求人・求職のマッチング強化を求めました。

府より、就業拠点である「OSAKAしごとフィールド」において、未経験の業種であっても再就職ができるよう、スキルアップ研修や有休の職場体験などを実施していく。また、女性が就職活動しやすいよう個人の状況に合わせ、カウンセリングを行うとともに、乳幼児の一時預かりサービスを提供するなど女性が就職活動しやすい環境づくりに努めると答弁がありました。



福祉と連携した個別支援計画を 避難行動要支援者の個別支援計画策定の支援について

兵庫県では「防災と福祉の連携促進モデル事業」を開始し、ケアマネジャー等が平常時のサービス等利用計画を作成する際、避難のための個別支援計画についても合わせて作成している。この事業は心身状況を熟知したケアマネジャー等が積極的に関わる事により、実効性の高い個別支援計画を作成できることを述べ、府としても市町村に対し福祉と連携した個別支援計画の策定を支援していくべきと求めました。

府より福祉部など関係部局と共に、より災害リスクの高い人を対象に、作成上の課題を分析し、市町村の取り組みが進むよう支援していくと考えを示しました。

健都の集積を活かし、新たなサービスの発信を 健都における産学連携の取り組みの推進について

国立健康・栄養研究所の移転に係る推進体制を問う共に、健都の集積を生かし、2025年の大阪・関西万博においても、健都発の新たな製品やサービスが生まれることが期待されることから健都内外の関係機関とを繋ぐ健都におけるコーディネート機能の早期の構築を求めました。

府より、総合調整機能としてのワンストップ窓口の存在は重要であり、健都内外の産学のネットワークの充実を図るとともに、地元市と連携しながら国立健康栄養研究所が移転する令和4年度までに、コーディネート機能の構築を図ってまいると答弁がありました。

三浦とし子の挑戦!

元気な大阪 + 吹田のまちづくり



11月10日
神戸市中央区にあるスタートアップ(成長型起業家)支援拠点「hoops link kobe」を視察。産官学連携で、ユニコーン企業の輩出や革新的ビジネスモデルの発信など取り組みについて伺う。



11月3日
大阪急性期・総合医療センターを秋野公造公明党死因究明等対策チーム座長と訪問。児童虐待の早期発見と防止について医療機関の全科の必要性について伺う。



12月7日
大阪コロナ重症センターを視察。新型コロナウイルス感染者で重症者を専門に治療する施設。30床あるベッドに全て人工呼吸器が備わり、透析が必要な患者用ベッドも用意されている。



発熱などの症状があるときは、まずはかかり付け医や地域の身近な医療機関に電話で相談し、指示に従いましょう

新型コロナウイルス感染症 年末年始の相談先について

年末年始を含めた土・日・祝日や夜間、どこに受信したらいいかわからない時など

●吹田市新型コロナ受診相談センターへ

TEL: 06-7178-1370 FAX: 06-6339-2058

月～金曜日・年末年始29日～3日 午前9時～午後5時30分。夜間・休日050-3531-5598